

入札監理小委員会における審議結果報告 「小型実験動物研究施設実験動物飼育管理業務」

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターの小型実験動物研究施設実験動物飼育管理業務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果を以下のとおり報告する。

1. 事業の概要

(1) 事業の概要

○ 事業概要

本業務は、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（以下「センター」という。）神経研究所（以下「研究所」という。）の研究活動に必須である小型実験動物研究施設における実験動物施設管理業務、給餌、排泄物の処理等の小型実験動物（マウス・ラット）飼育及び小型実験動物の健康管理業務、動物実験補助作業、飼育器材等の洗浄管理業務等を実施するものである。

令和2年度に事業選定された事業であり、市場化テストは1期目。

○ 実施施設

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所
（東京都小平市小川東町4-1-1）

小型実験動物棟、総合実験動物棟（3階）

○ 事業期間

2022年4月1日から2025年3月31日までの3年間（第1期目）

○ 事業の目的

研究所は、センターの研究機関として、センター病院、精神保健研究所等と協働し、精神疾患・神経疾患・筋疾患・発達障害などの病態や病因の解明及びそれらの予防法と治療法の開発に取り組んでいる。

本事業は、研究所の研究活動に必須となる小型実験動物の小型実験動物管理施設における飼育管理等を実施し適切に管理することを目的とする。

(2) 選定の経緯

本事業は、一般競争入札（最低価格落札方式）で実施してきたところ、1者応札が継続しており競争性に課題が認められたため、公共サービス改革基本方針（令和2年7月7日閣議決定）別表において、新規事業として選定された。

2. 市場化テストの実施に際して行った取組について

○ 前回、前々回の入札不参加業者のヒアリング結果の反映

入札公告日から契約開始までの時間が短いので人員の確保が困難との回答を得ていたため、

- ① 入札公告開始時期を1ヶ月前倒し(12月下旬→12月1日) 【資料3-2(17頁)】
- ② 入札公告期間の延長(33営業日→62営業日) 【資料3-2(17頁)】
- ③ 入札説明会の実施(作業手順書等の非公開資料も閲覧可) 【資料3-2(17頁)】
- ④ 引継期間(落札者確定後1ヶ月間)の確保 【資料3-2(17頁)】
- ⑤ 業務従事者要件の緩和
技術員Cを廃止。技術員Bの実務経験を1年以上から半年以上とした。技術員Bは非常勤職員も可とした。 【資料3-2(9、46頁)】
- ⑥ 入札公告前にセンターのHPに「入札公告予定」の情報を掲載した(9月1日付掲載)。
- ⑦ 入札公告前のリサーチの実施
前回・前々回で入札資料を送付した業者を含め、技術的・人員数的に本事業を担えると予想される業者を抽出し、入札予定の案内を行った結果、1者に応札参加予定、2者に応札検討との回答を得た。

○ 従前の実施状況の開示

- ① 従前の飼育概要(飼育室部屋数、飼育ケージ数等)の開示 【資料3-2(3~4頁)】
- ② 各業務の業務頻度の開示 【資料3-2(5~6頁)】
- ③ 経費、人員等の実施状況の開示 【資料3-2別紙3(41~42頁)】

○ 業務従事者の業務負担軽減

- ① 関連会議等への出席を明記し、業務都合上やむを得ない場合には、事前報告をもって出席扱いとすることができるとした。 【資料3-2(6、44~45頁)】
- ② 日報を週報に変更し事務作業を軽減化した。 【資料3-2(6、45頁)】
→「作業週報」と「週間作業シフト表」を添付 【資料3-2別添(47~52頁)】
- ③ 業務従事者に関する氏名、取得資格等の情報の事前連絡を届出から説明に簡略化した。 【資料3-2(8、45頁)】
- ④ 業務従事者の勤務計画書の事前提出を不要とし、関連部署の求めに応じて当該計画の閲覧で可能とした。 【資料3-2(9、46頁)】

○ 確保されるべきサービスの質の明示

本事業のサービスの質を維持するため、確保されるべきサービスの質を明記した。

【資料3-2(7~16頁)】

- 新型コロナウイルス感染防止対策に沿った行動を行うことを明記 【資料3-2(12頁)】
- 入札参加グループでの参加可能 【資料3-2(16頁)】
- 落札者の決定方法
総合評価落札方式とした。 【資料3-2(20~21、30~40頁)】

3. 実施要項(案)の審議結果について

- 勤務体制について
【論点】給餌及び給水等は5回/週とあり、完全週休2日とある。土日休みのことなのか。人員配置計画書では土日も勤務となっており、週報には土曜日が休日のものもあれば出勤のものもある。
【対応】本事業は土日休みの完全週休2日とする旨、本文、人員配置計画書、週報を修正し、統一した。 【資料3-2(5、12、37、44、47~50頁)】
- 会議への出席について
【論点】会議の記載が2箇所ある。別の趣旨の会議であれば整理して記載すべきである。
【対応】会議の種類で区別し、それぞれの会議出席の意図を明記した。 【資料3-2(6、44~45頁)】
- 教育・研修等について
【論点】「管理者の定める形式により実施しなければならない。」とあるが、すでに定められた形式があるのならば添付するか説明会で説明すべきである。
【対応】センター、研究所としての定まった形式はないが、代表例を記載した。 【資料3-2(7、45頁)】
- 総合評価落札方式の評価項目「実施体制」について
【論点】「類似業務の実績」の加点を5段階とするのは、細かな分類であり厳しすぎる。
【対応】 加点を4段階に修正し緩和させた。 【資料3-2(30頁)】

【論点】「類似業務の実績」の経験年数に関して、曖昧な記載になっている。
【対応】「10年以内に5年以上継続して」等、明確に記載した。 【資料3-2(30頁)】

4. パブリックコメントの対応について

令和3年10月20日(水)から令和3年11月2日(火)までパブリック・コメントを実施したが、寄せられた意見はなかった。

以上